

釧路高専生の英検問題における弱点とその克服法

田村 聡子*

The Weak Spot of Kushiro Kosen Students in the Eiken Test Approaches on How to Overcome their Weakness

Akiko TAMURA

Abstract - It has been four years since Kushiro National College of Technology made it one of its mid-term educational goals for the college students to attain a pre-second grade qualification in the Eiken Test. About 40% of the second graders who are obligated to sit for the test have succeeded in passing it. Currently, some 50% of the all final year students graduate with the qualification of the pre-second or the second grade. However, the data from the last three years, starting in 2004 by the Eiken Association, shows that there has been one certain common weak point among the Kushiro Kosen students across those years. Basically, it is word-assembling composition. In this paper, I would like to identify in detail, based on the Eiken data, this weak area of the Kosen students in the test, and suggest four approaches on how to overcome it so that they could work on the test more effectively and efficiently.

KEYWORDS: the Eiken Test, word-assembling composition, four techniques

1. はじめに

釧路高専が英検対策を始めて4年目である。対策が始まった当初から見ると高専生の基礎的英語力はかなりアップした。今年度5年生の50%が英検準2級あるいは2級の資格を持って卒業することになる。

英検準2級の筆記問題は大きく分けて4つの分野に分かれる。語彙・文法、会話文の把握、単語の並べ替え英作文、そして長文問題である。高専生が高い得点率を取っているのが語彙・文法と会話文の分野である。この2つの分野においていかに高得点を取るかで合否が決まるといってもよいだろう。特に、設問1の語彙・文法の4択問題は重要単熟語を暗記し、基礎的英文法をしっかりと学習していればここほど点数の稼げる問題はない。その設問1で高い得点率を得た学生が合格を果たしている。会話文の問題も選択問題なので会

話の流れを把握できれば簡単に答えが選べる。リスニング問題は英検受験者全員にとって共通の弱みであるのでやはり筆記部分で着実に得点することが合格への近道なのである。

では、設問1と会話文の設問2を除いて点数を稼げる場所はどこかといえば、設問3の並べ替え問題であろう。多くの高専生は英語の長文に対してアレルギー体質を持っているらしい。長い英文ストーリーを見ただけで頭のスイッチがオフになってしまう。それ以前に長文を全部読む時間などないのであるから、与えられた質問の答えが述べられている箇所を探して飛ばし読みをするという技を身につければいいのである。短期決戦で挑むためには既に身につけた基礎文法を活かして、英単語を並べ替えてひとつの文を組み立てる力を発展させた方がより合格に近くなる。さらに、たとえ並べ替えであっても英作文は英語の単熟語、基礎英文法力、構文の知識と論理的思考を必要とするので英語の総合力を成長させるにはよい演習問題となるのである。

* 釧路高専 一般教科

2. 高専生の並べ替え問題の得点率の実態

2004年～2006年 分野別平均得点率の比較

	釧路高専平均	全国平均	比較
語彙・熟語・文法	54.8%	54.1%	+0.7
読解〔空所問題〕	43.4%	47.2%	-3.7
〔内容把握〕	52.0%	56.3%	-4.3
リスニング	46.5%	51.4%	-4.9
作文〔作文〕	32.7%	40.5%	-7.9

表1 (統計: 日本英語検定協会)

上記にある表は2004年から2006年までの3年間の釧路高専と全国の並べ替え問題の平均得点率の比較である。釧路高専生が並べ替え問題においていかに点数を落としているのが如実に表れている。並べ替え問題は5題出題させるができてせいぜい1, 2問がいいところであろう。この苦手の並べ替え問題を克服することが釧路高専の合格率アップへの鍵になることは明らかである。

2-1. 何をすべきか

これまでの4年の間に合格を果たしてきた学生たちは、前節でも述べたように設問1と2で点数を稼いでいた。つまり英単語と基礎的文法力で闘ってきた。しかし英検準2級受験が定着してきた今後は、合格を着実にするためにもう一歩進み出る必要がある。就職や大学編入においてある程度の英語力が求められている近年の社会的傾向を考慮すればなおさらである。短文レベルの並べ替え問題は本格的な英作文の前座とも言える。英語の基礎的知識から脱却し英単語を組み立てる構文力と論理的思考を発展させる段階にきているのである。

2-2. 実用的な取り組み方

では、実際どのように取り組んでよいのか考えてみたい。出題される英作文の中に空欄があり、並べ替えしなければならない部分はひとつの英文のどこの部分かはわからない。空欄が文頭にある場合もあれば、真中或いは文尾にあるかも知れない。普通の英作文であればもちろん主語+動詞のパターンで始められるのだが、並べ替え問題では空欄の前後から判断して文を組み立てなければ

ならない。これがこの問題の難しい部分であろう。やっと必要最低限の英単語を覚え、基礎英文法を学習したばかりの学生たちが空欄の前後から判断して文を組み立てなければならないのだから大変である。

英作文には5文型(sv, svc, svo, svoo, svoc)をきちんと理解していることを前提に並べ替え英作文に取り組むためのコツを4つほど提案したい。

2-2-1. 選択肢の中で結びつく組み合わせを探すべし

選択肢の中で熟語や構文として結びつくもの、または空欄の前後の語句とつながる選択肢を探し出す。更に名詞の前につく冠詞や所有格、形容詞とのつながりを見たり、前置詞の後ろに来るのは名詞か動名詞(～ing)であることを念頭においておくとても役に立つ。これらの組み合わせがうまくいくとこれだけで問題が解けてしまうケースも多い。

例1.

Teresa's tennis club needed money to buy uniforms, so the team members () to raise money

1. money 2. ideas 3. up 4. came 5. a variety of
(07年1月既出問題)

come up with～「考え付く」という熟語を知っていれば4, 3, 1の組み合わせがすぐ出る。前置詞のwithの後ろは名詞が来るのでa variety of ideas、つまり5と2が結びつく。空欄の前後に気を使わずとも4, 3, 1, 5, 2という並べ替えが完成した。

例2.

A: Would (), Charles?

B: Not at all. I'll do anything for a friend.

1. doing 2. a big 3. you 4. mind 5. favor
(03年10月既出問題)

2のa bigと5の名詞favorが結びつくのはすぐにわかるであろう。あとは、do+人+a favor「～のお願いを聞く」の熟語が入っていて、mind+～ingの構文をすれば解答は出たようなもの。Wouldから始まる疑問文なので(Would) you mind doing me a big favor、つまり3, 4, 1, 2, 5と

なるのである。

これら2つの例からもわかるように与えられた5つの選択肢を見ただけで解答が出てしまうケースも少なくない。単熟語と基本的構文を覚えていればこれほど簡単に解けるラッキー問題はないのである。

2 2 2 . (もちろん)主語と動詞を探すべし

命令文は主語が省略させてしまうが、通常は当然ながらどんな文にも主語と動詞が存在する。そこでとりあえず、主語と動詞を探してみる。

例 1 .

The train from London to Birmingham () weekends, but only once an hour on weekends.

1. minutes 2. every 3. on 4. leaves 5. twenty
(03年6月既出問題)

空欄の前に主語が存在しているので動詞を探せばよい。この問題の場合、動詞は4のleavesだけである。空欄の後ろがweekendsなので前置詞のonが並べ替えの最後に来ることもすぐに見破れるであろう。あとは、残りの1と2と5を並べ替えるのだが、every twenty minutes「20分おきに」というのはすぐに推測できるはずである。答えは、(The train...)leaves every twenty minutes on (weekends)、4, 2, 5, 1, 3となる。

主語と動詞の組み合わせが選択肢内で見つかっても常に主語から始まるとは限らない。例えば主語と動詞が逆になる倒置文になっていたり、wheneverやhoweverのような譲歩文或いは間接疑問文や接続詞の可能性も念頭においておく役に立つ。

例 2 .

A: Dad, I'm going to meet my friend at the airport. What's the best way to get there?

B: Well, you could take a bus, a train, or taxi but it's going to be ().

1. you 2. however 3. choose to 4. expensive 5. go
(03年10月既出問題)

ここではまず、howeverがあるので「たとえどのように~しようとも」という意味をなす譲歩文であることが想定できる。そして空欄の前がbe動詞がきているので並べ替えの最初は4の

expensiveであることも推測できる。主語が1のyouであることは確定しているし、動詞は3と5であるが、go choose toはあり得ないことは明白であるのでchoose to goになる。つまり答えは(going to be) expensive however you choose to go、4, 2, 1, 3, 5となる。

例 3 .

Mike asked his friends () a trip this weekend, but they all said they were too busy.

1. they were 2. in 3. interested 4. if 5. going on
(03年10月既出問題)

ここでは接続詞のifに注目しよう。空欄の前がasked his friendsになっているのでこの場合のifは「~かどうか」という意味の接続詞であることがわかる。この後は主語と動詞を探せばよいのだが主語は1のthey wereであることはすぐにわかるがその後にくるものとして、3のinterestedと5のgoing onで悩むかも知れない。ここで前に述べた前置詞+動名詞の知識をうまく使うとよい。be interested inの熟語は誰でも知っているべきものなのでその後に動名詞going onをつけようまくいく。つまり、if they were interested in going onとすれば空欄の後ろのtripともgo on a trip「旅に出る」とうまくつながるのである。

2-2-3 . 文法から考えてみる

英検攻略のために抑えるべき重要文法がある。これは著者の06年度釧路高専紀要で紹介済みであるが、その重要文法の知識を駆使すれば並べ替えも楽に組み立てていくことができるであろう。

例 1 .

Helen's favorite subject in school is English. She loves writing so much that () an author.

1. she will 2. to be 3. her teacher 4. thinks 5. grow up

(03年6月既出問題)

この問題は不定詞をしっかりと学習した者にとってはとても簡単な問題である。選択肢を見ただけで5と2が結びつくのが明らかである。grow up to be~で「~に成長する」という不定詞の副詞的用法であることがひと目でわかるからである。beの後は名詞か形容詞がくるが、空欄の後ろが名

詞であるので空欄の前にこのgrow up to beのフレーズが来ることがわかる。残された選択肢のthinksには三単現のsがついているので主語はher teacherであることも一目瞭然である。となれば答えはher teacher thinks she will grow up to be (an author)、3, 4, 1, 5, 2になる。

例 2 .

A: Hey, Roger. How are you doing?

B: Clare! I'm glad to see you. You're (). I need your help.

(03年10月既出問題)

この問題では、まず主語と動詞が空欄の前にあることに注目すればその後は1のlooking forか3のpersonがくることが推測できる。名詞には何らかの冠詞がつくのでpersonの前に2のthe veryが付くことに気がつかなければならない。残りの選択肢がI'veとbeenであることを考えれば、I've been looking forとなるのが自然である。すると答えは(You're) the very person I've been looking forとなりpersonとI'veの間に関係代名詞のthatが省略されていることに気がつかなければならない。また、the veryが名詞の前に付いて「まさにその～」という形容詞の役割をすることも理解していればこの問題も決して難しくはないはずである。

2-2-4 . 空所の周りのヒントを見逃すな

空欄のある文の最後がピリオドか疑問符?か或は感嘆符!のどれであるのかに注意する。小さな符号も文の構成を考える上で大きなヒントになる。

例 1 .

A: ()? I totally forgot to pay the rent this month.

B: It's September 12.

1. it 2. today 3. what 4. is 5. day

(英検予想問題: 日本英語教育協会)

空欄の後ろに疑問符?があるということは疑問文。そして疑問詞のwhatが存在しているので当然文頭は2のwhatになる。ここで会話文のBの返事からAがwhatから始まる疑問文で何を聞きだそうとしているのかを把握する。Bの答えは「9月12日」と言っているのでAは「今日は何日?」

と聞いていることがわかる。ここまでくると並べ替えは、What day is it today?で3, 5, 4, 1, 2になると楽に解ける。

例 2 .

Mayumi () could not go to his farewell party.

1. why 2. to 3. Tom 4. explained 5. she

(英検予想問題: 日本英語教育協会)

この問題では選択肢の中に疑問詞whyがあるのに疑問符?がない。このような場合、疑問文ではなく間接疑問文であることが推測できる。Mayumiという主語が存在するので動詞を探す。該当するのは3のexplainedで「~に説明する」という意味にするにはexplained to~になる。空欄の後ろがcouldになっているのでその前は主語が来ることから並べ替えの最後は5のshe。答えは(Mayumi) explained to Tom why she (could not ~)、4, 2, 3, 1, 5となる。このように疑問符のあるなしで問題文の構造を見破ることができるので?や!の小さな記号にも注意を払うことは大切である。

3 . 終わりに

過去3年間の統計で高専生の弱点が並べ替え問題であることを証明した。短文レベルの並べ替え問題は英単熟語、文法、構文力を伸長させるにはよい演習となる。高専生にはこれらの基礎力が欠けていた。それが並べ替え問題の得点率の低さに如実に現れた結果であろう。英検対策が始まって4年目である。始まった当初から比べると彼らの基礎的英語力はかなりアップした。今後は著者が本稿で提案した4つのコツを参考に並べ替え問題に挑んでもらいたい。

余録ではあるが、近年全国の高専、大学ではTOEICテストの点数で学生の英語力を測ろうとする傾向があるようだ。このテストは受験者のほとんどが韓国人と日本人で、国際的英語能力試験であるとはあまり言いがたいⁱ。しかし、ネーミングの横文字マジックのせいなのかこのテストの人気は年々高まるばかりである。TOEICの満点は990点。各高等教育機関や企業が求める手いる点数は400点~450点程度である。リスニングが100問もあり学生の集中力も途中で切れてしまいがちでかなりハードルが高い。英検準2級でTOEICの400点以上との理想的なデータを出している機関ⁱⁱも

あるが、現実には英検 2 級で400点程度と推測される。この点から考えても準 2 級合格に向けての努力は大変重要である。どんな英語の試験においても基礎力がなければ全く歯が立たない。たとえ TOEIC に挑むにしても基礎的英語力がゼロからはじめるのは無茶であろう。釧路高専もこれから TOEIC テストへの取り組みが必要になってくると思われるが、それならばなおさらのこと低学年における英検対策は有意義な取り組みであるといえよう。英検準2級で英語の基礎力を養ってから TOEIC に臨むのは「急がば回れ」的手段であり、全く有効なやり方であると信じるものである。

ⁱ Kiyoto Hinata.

<http://tottocobhinata.cocolog-nifty.com/bizieisakichio/toeic/in>, Aug 6 2006

ⁱⁱ 社団法人日本工業英語協会、英宝社等

参考文献

- 1) 小柳優子：英検整序問題の必勝テクニック、旺文社、2006 .
- 2) 山口昌彦：英検準 2 級 1 次試験合格のコツ 南雲フェニックス、2002 .
- 3) 英検準 2 級全問題集、旺文社、2004 .
- 4) 英検合格トレーニングセンター、〔財〕日本英語教育協会、2004 .